



# 思索の源泉

## 南谷真鈴

物心の付く前、一歳半のときに父の仕事の関係で赤道付近のマレーシアに渡りました。住んでいたところはカラフルな自然の光にあふれ、毎日のように公園やプールで遊んでいたようです。三歳になるころには、今では目にする機会も少なくなったCRTモニターを使うパソコンでゲームもしていたようで、当時撮ったビデオには小さな手で器用にマウスを操る自分が映っています。

その後も一時帰国をはさみながら二年に一度は住む場所が変わり、十三歳の時に父が赴任していた香港へと転校。中高一貫のブリティッシュスクールでしたが、ノートパソコンの使用を前提にしている学校からの連絡やレポート提出にもほと

んどパソコンを使うのです。生徒は校内にスマートフォンまで持ち込んでいて常時WiFiに繋がっていました。人口密度の高さも世界有数の地域ですから校舎も上に長く（高く）、校内にはドリンクやスナック類の自販機まであり、ランチタイムのキャフェテリアは満席。サンドウィッチを買って、別のフロアでお昼を迎えた友人とビデオ通話をしながらランチということもありました……。デジタルネイティブと言われる世代のひとりです。

ほどなくして、青少年体験活動の一環で香港の山に登るようになりました。長いイギリス統治時代の政策を受け継いだ香港では開発できる場所は海沿いの狭い平地に限られていて、標高はさほど高くないのですが山々と緑が保全されています。山頂から下界を見下ろせば立ち並ぶビルたちが小さく見え、日常生活で抱える様々な悩みもちっぽけなものに思えるようになっていきました。香港での登山がきっかけとなり、アンナプルナ（ネパール）やミニヤコンカ（中国チベット）でのトレッキングにも参加しました。



みなみや・まりん ●早稲田大学政治経済学部在籍中。神奈川県生まれ。2015年のアコンカグア登頂から現在までに、キリマンジャロ、モンブランマナスル、コジオスコ、ヴィンソン・マンス、南極点到達、カルステンツ・ピラミッド、エルブルスを征服。16年5月にエベレストに登頂し日本人最年少記録を更新、さらには同年7月にデナリに登頂して7大陸最高峰(セブンサミッツ)の日本人最年少記録を更新。17年4月に北極点に到達し、「エクスペローラーズ・グランドスラム」達成の世界最年少記録を樹立。

その頃からです。不思議なことに、大

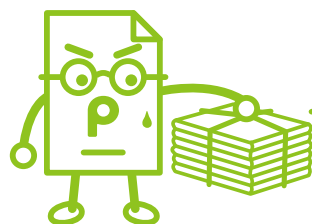
切な考え事をまとめる時には決まって紙を使うようになっていました。何度も読み直し、書き直し、全体を構成し直すアナログな作業をするのです。エベレストへの具体的なプランをまとめた時もそうでした。十七歳の時、やりたいことと優先順位を紙に書き出してみました。「進学」「仕事」「母になること、家族」など、やりたいことリストをまとめた結果、エベレストは十代のうちに実行しておくべき大きなプランであることがハッキリしました。次に、実行に移す小さなプランづくりに取り掛かりました。眼前の大きなプランを構成する経験値や体力の向上、資金の確保をどうするか……。今も、閃いたり迷ったりしたときには先ず紙を取り出します。

そう、思索の源泉。それが私にとっての紙なのです。

### ペーパー君のつ・ぶ・や・き 活動

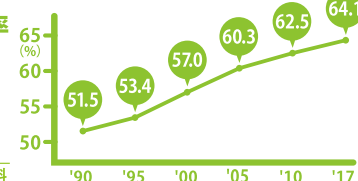
#### 紙に一番多く使われている原料は？

答えは「木」と思っている方、多いはず。でも実は、使用済みの新聞や雑誌、段ボールなどの「古紙」なんです。その割合は、なんと原料全体の60%以上。古紙利用率は年々高まってきていて、2020年度に65%に到達させることが目標なんです。



#### 古紙利用率の推移

※古紙利用率  
|| 古紙消費量  
製紙用繊維素原料



資料：経済産業省「紙・パルプ統計」

紙のことをもっと伝えたい。詳しくは、<http://kamitsubu.com/>「ペーパー君のつ・ぶ・や・き」WEBサイトをご覧ください。

今回は2019年1月3日・10日合併号、市川猿之助さんです。

提供 ● 日本製紙連合会 <http://www.jpa.gr.jp>

Photo:Shiro Miyake